

第9回ホクホク会主催東日本大震災

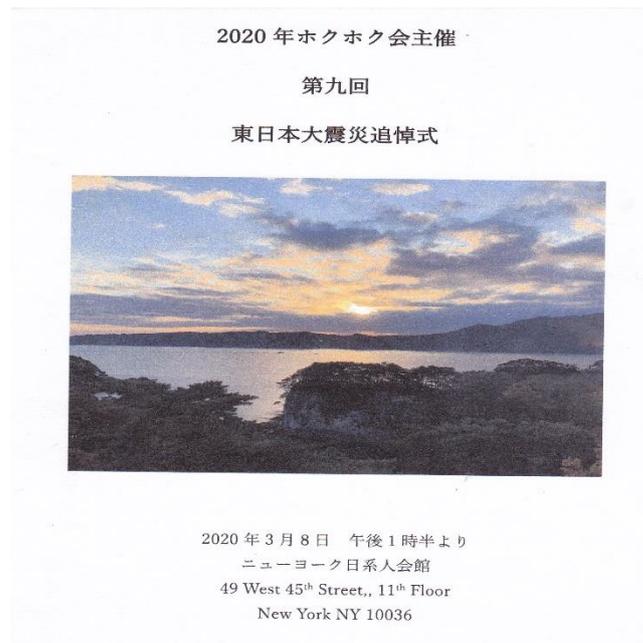
追悼式

ニューヨーク近郊に在住の東北6県と北海道出身者などが集まる県人会の連合会である「ホクホク会」主催の第9回東日本大震災追悼式が、3月8日、市内にあるニューヨーク日系人会館で開催された。海外にいても故郷の被災地を「忘れない」という想いを込め、震災後から毎年開催されてきたこの追悼式は、当初、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で今年の開催が危ぶまれたが、震災で特に大きな被害を被った岩手、宮城、福島3県の県人会員からの強い要望があり、若干プログラムが縮小されたもののなんとか開催にこぎつけ約60人余りが出席した。

第1部のはじめに、在ニューヨーク日本国総領事山野内勘二大使の来賓あいさつがあり、その後、ニューヨーク青森県人会、同岩手県人会よりあいさつと被災地の現状報告が続いた。そして、ニューヨーク在住の浄土真宗僧侶・中垣顕實氏より法話、読経が行われ最後に参加者全員で黙祷した。また、岩手県から参加した久慈東高校2年生の小野楓さん、久慈高等学校1年の小谷地奏依さんが、被災した出身地である野田村の震災当時から現在までを英語を交えてレポート。さらに、被災者の心のケアと防潮林再生を目指す団体「のだ千年の松」代表の坂本久美子さんがこれまでの活動を報告した。

第2部では懇親会とさまざまなパフォーマンスが行われ、岩手県出身のシンガーソングライターで希望郷いわて文化大使の松本哲也さんは、被災地の希望の思いを込めた「センチュリー」「故郷」の2曲を熱唱し来場者から盛大な拍手が送られた。

記事写真 西村純会員提供





在ニューヨーク日本国総領事
山野内勘二大使のご挨拶



中垣顕實法師による読経、法話、黙祷



司会の岩手県人会幹事藤島誠さん



被災地の現状報告、宮城県人会
堀江貴さん



被災地の現状報告、
福島県人会、会長
竹田小夜子さん

岩手県被災地の現状報告三名



久慈東高校生、小野楓さん



久慈東高校生、小谷地泰依さん



“のだ千年の松”代表
坂本久美子さん

懇親会



シンガーソングライター
希望郷いわて文化大使、松本哲也さん



岩手県から参加された方々；(敬称略)

松本哲也、坂本充、坂本久美子、佐々木華菜、小野楓、小谷地泰依、今野大介、
小林あずみ、山口光司、さとみ Cox (岩泉出身、ハワイ在住)。

